

# 港労研通信

第20号2024年12月31日

全国港湾労働組合連合会(全国港湾)

港湾労働政策研究所

〒144-0052 東京都大田区蒲田5-10-2日港福会館1F

TEL03-3733-2561 FAX03-3733-2627

http://zenkoku-kowan.jp/

## 全国港湾活動日誌 2024年12月1～31日

- 12/2 第4回常任中執会議  
25春闘方針(案)配布(FAX第36号)
- 12/3 国交省による”年末年始荷役に係る「国港経70・71号」について(協力依頼)に抗議声明を発表
- 12/9 横須賀新港ふ頭フェリー四者会議(FAX第38号参照)
- 12/10 第5回中執会議(FAX第38号)  
＜報告事項＞▶年末年始休日に係る対応について▶料金問題P/Tの取り組みに関する折衝について(11/22)▶第21回港運労政懇話会について(12/6)▶行政訴訟/進行協議と第3回口頭弁論について(12/10)▶横須賀フェリー四者協議について(12/9)▶神戸港におけるRTG遠隔操作の導入について(11/29)▶経産省が開催する放射線検査に係る説明会について(12/2)▶防災無線の設置の課題について▶その他  
＜検討事項＞▶アライアンスの再編への対応について▶石炭荷役に係る課題について/対策会議(11/29)▶沖縄県中城湾港での無許可土砂搬出、港湾法違反について▶第17回中央委員会の準備及び25春闘方針・要求書の確認▶その他・国土交通労組より国会請願署名要請▶25春闘アンケート集計(12/15)▶第18回港湾労働セミナー25年6月18～20日開催
- 12/11 港労研第3回総会▶経過報告及び25年度方針及び決算予算の確認▶役員の確認を行った。(FAX第48号)  
▶特別講演「現在のコンテナ定期船輸送市場の基本的構図と港間競争」主任研究員：津守教授(岡山大学)
- 12/13 機械化・自動化に関する労使協議会(FAX第41号)12/13 中央事前協議会(FAX第42号)
- 12/13 24年度年末年始例外荷役に関する労使政策委員会議事確認(FAX第43号)＜検討事項＞▶年末年始例外荷役に係る措置について▶MUA(オーストラリア海事労組)の争議支援▶人員不足対策小委員会の答申について▶25春闘方針(案)・25春闘要求書(案)最終確認▶その他/各単組中央委員会・地区港湾春闘討論集会の日程確認
- 12/16 第5回常任中執会議
- 12/16 24秋年末闘争/冬期(季)一時金情報(FAX第44号)
- 12/18 教宣部会(25年新年号編集)
- 12/23 四役会議(年末年始作業体制と確認)
- 12/25 四役会議(年末年始作業体制と確認)
- 12/26 四役会議(年末年始作業体制と確認)
- 12/27 四役会議(年末年始作業体制と確認)
- 12/27 旗じまい

## 港運事業関係及び政治経済等 12月1～31日

- 12/2 アライアンス再編、プレミアム/ジェミニが事前協議を申請。枠外サービス体制も一部変更か(MD)
- 12/3 国交省、補正予算に港湾機能強化に143億円(MD)
- 12/4 国交省、前後期間で柔軟な対応を要請・国交省、労使に介入「年末年始も働け」(赤旗・MD)
- 12/4 船積み中古車の放射線検査「事実上、不要」政府説明会(日刊自動車新聞)
- 12/5 専門労組、賃上げ基準内3万円要求(MD)
- 12/9 アサド政権崩壊、シリア反体制派、首都制圧(日経)
- 12/10 ONE、年末年始期間は日本抜港(MD)
- 12/10 CTゲート前体躯「努力義務の範囲」(MD)
- 12/12 検数労連、冬季一時金交渉妥結(MD)
- 12/12 横須賀フェリー問題で四者協議、組合「棲み分けできない」(MD)
- 12/13 郵船調査、コンテナ船に動き過去最高(海事)24年の荷動き5.6%増の2.46億TEU(MD)
- 12/13 全倉運の年末一時金交渉が終了(MD)
- 12/16 上組・PC18、港運労使、遠隔操作稼働了承(MD)
- 12/16 北米東岸労使交渉巡り、トランプ次期大横領、組合に理解示す(MD)
- 12/19 稲田港湾局長「技術で作業環境改善」(MD)
- 12/20 税関立て替え注意喚起(海事)
- 12/24 北米東岸労使交渉の膠着続く(MD)
- 12/24 米国→日本コンテナ輸送、日本経由の海外向けTS貨物が7倍に(MD)
- 12/24 日本→米国コンテナ輸送、TS率が再び3割台(MD)
- 12/24 日本政策投資銀行「国内も全自動港湾の導入望ましい」自動化・遠隔操作で調査レポート(MD)
- 12/24 トランプ氏、パナマ運河の返還要求。パナマは「返還」要求断固拒否」(MD・海事・赤旗)
- 12/24 労組組織率16.1% 前年比0.2ポイント減(赤旗)
- 12/25 被団協被爆80年で核兵器廃絶へ世界で証言(赤旗)
- 12/30 国交省港湾局・25年度予算案  
コンテナ戦略港湾の機能強化に638億円(MD)
- 12/30 国交省、25年度税制改正  
戦略港湾、荷捌き施設への特例を延長
- 12/30 全国港湾、2月の中央委員会で春闘要求決定  
人手不足対策で大幅賃上げ目指す
- 12/30 韓国旅客機炎上179人死亡、胴体着陸試み失敗

## 全国港湾関係資料

&lt;2024年12月分&gt;

## 1. 新聞図書関係

## (1) 定期購読紙誌

- ① 日本経済新聞(日経)  
② しんぶん赤旗(赤旗)  
③ 物流ニッポン(物流)

## (2) 業界関係

- ① 日本海事新聞(海事)  
② マリタイムデーリーニュース(MD)  
③ シッピングガイド(SG)

## 2. 関係組合機関誌等

## ◇「全国港湾」 第381号 12月15日

発行：全国港湾労働組合連合会

特集Ⅰ：24年度年末年始例外荷役、国交省の介入に強く抗議。改めて労使政策委員会議事確認の実行を主張  
特集Ⅱ：ITF(国際運輸労連)第46回世界大会/

We are ITF We are 全国港湾

## ◇「全倉運」 第1531号 12月10日

発行：全日本倉庫運輸労働組合同盟

特集：▶2024年秋年末闘争妥結収拾/年末一時金は前年を上回る金額に。▶21単組で前年実績以上を確保/労働条件改善へ・休暇や人員問題など回答引き出し

## ◇「日通労働」 Vol. 2996 2024 December

発行：全日通労働組合

特集Ⅰ：会社経営に関する統一申し入れ/会社経営施策に対し、組合の視点で指摘・提言

特集Ⅱ：第114回中央ユニオンセミナー(岩手)

第115回中央ユニオンセミナー(女性役員)

2つのセミナーで全国から80名の組合役員が学ぶ

## ◇「海員」 2024年12月1日 12月号 通巻905号

発行：全日本海員組合 本部

特集：道の駅 丸亀～本島に行く  
海員トピックス：内航貨物船と外国籍船ケミカルタンカーとの海難事故/運輸安全委員会に対し迅速な事故原因究明と事実情報の開示を強く要請

▶全国海友婦人会第55回定期大会

▶蒲郡・鳥羽航路を特別運航

▶「第三しょうどしま丸」竣工披露

## ◇「船員しんぶん」 発行：全日本海員組合

第3071号 12月5日

特集：世界初 アンモニア燃料曳舟「魁」就航

▶安全対策を徹底した次世代燃料船のさきがけとなる

第3072号 12月15日

▶組合本部会館 改修工事竣工セレモニー▶100年以上続けてきた海上労働運動の新たな礎として未来を紡ぐ

## ◇「フェニックス」 第410号 2024年12月1日

発行：航空労組連絡会

特集：年末一時金 コロナ前水準に

▶JAL、昨年実績下回る ▶JFU/JGPA賃上げ求め交渉継続

## 3. 雑誌、機関誌等(謹呈・贈呈含む)

## ◇「研究と資料」 NO. 247 2024年12月1日

発行：NPOかながわ総合政策研究センター

▶巻頭言：「向き合う」ということ/神奈川労連事務局次長 藪 治 ▶アメリカの労働者組合の法制と運動の特徴—最近の組織化活発化の新相を理解するために(第二回)/国際労働運動研究家 宮前 忠夫

▶三牧聖子著「Z世代のアメリカ」(NHK出版新書、2023年7月刊)を読む/NPOかながわ総研正会員 梶田 義熙

▶米国が描く武力衝突のシナリオ—米国のWargame研究から見えてくるもの(後編)/安保問題研究家 石井 康敬

## ◇「港湾」 Vol. 101 December 2024

発行：公益法人 日本港湾協会

▶巻頭言：南九州の物流・人流拠点施市長を続ける八代港・中村 博生/八代市長

特集：開発保全航路指定50年 ▶開発保全航路の半世紀を振り返って・明珍 幸一 ▶開発保全航路の制度と成り立ち・静稀 一輝 一開発保全航路の果たしてきた役割→

安全・安心な船舶航行を支えてきた東京中央航路・西森 男雄 ▶八重山圏域の生活を支える竹富南航路・小松 武弥 ▶地域の産業を支える中山水道港・玄間 忍

—歴史や観光から観る開発保全— ▶南予地方の海上交通のあゆみ・播田 泰大 ▶平戸瀬戸航路のあゆみ・馬場 宗吉郎 ▶万関瀬戸航路(長崎県対馬市)がもたらす多様な影響・梯 浩史郎 一開発保全航路の円滑な利用に向けて—

▶九州地方整備局における「海道見守り隊」制度の概要について・橋本 宗司 ▶瀬戸内海の海上輸送網を支える航路の安全を守るために・山口 亨 ▶瀬戸内海交通の難所における航法について・中橋 明勇 ▶効率的な航路保全

に向けた研究開発・松本さゆり

◇「港湾防災」 第720号 12月10日

発行：港湾貨物運送事業労働災害防止協会

▶令和6年 秋の褒章の栄誉 一港湾運送業・当協会関係者の受賞者—褒章—黄綬・山田英夫氏(天野回漕店社長)・須津明彦氏(大森回漕店会長)・田森豊氏(元木下商会会長)

▶年末年始港湾無災害強化期間 実施要項

## ◇「学習の友」 12月号 2024.12.1 NO. 856

発行：労働者学習協会

特集1：2024春闘！ストライキを構え 対等な交渉を

▶深まる労働者の貧困化—春闘をコモンズに/石井まこと

▶ストライキで職場と社会をかえる—声を上げることが普通の社会をめざして/黒澤幸一

▶選挙結果をどう見るか—自公政権の終わりが始まった/五十嵐 仁 ▶改憲軍事大国化の現局面—石破政権の危険性/小沢隆一 ▶貧困者救済とインフレ対策に献身した財界人・渋沢栄一/柳沢 遊 ▶戦後女性労働運動をふりか

える①戦前・戦中・女性労働者はどう扱われ、どう闘ってきたか/加藤千賀子

## ◇「大原社会問題研究所雑誌」NO. 794 2024.12

発行：法政大学大原社会問題研究所

特集：世界のベーシックインカム運動の現状と課題—韓国

▶特集にあたって/岡野内 正 ▶韓国のベーシックインカム運動—解雇と展望 安 孝 祥/影本剛 訳 ▶韓国におけるベーシックインカム運動—解雇と展望/朴 峻 喜

■論文ドイツの「想起の文化」と移民統合—ユダヤ人・イスラエルとムスリム移民

昔農 英明